

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第13週 (3/27-4/2) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		13週	12週	11週	10週
小児科		18	18	17	18
眼科		5	5	4	5
インフルエンザ*		27	28	26	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	3/27-4/2	3/20-3/26	3/13-3/19	3/6-3/12	3/20-3/26
			13週	12週	11週	10週	12週
小児科	RSウイルス感染症		2	0	2	1	12
	咽頭結膜熱		0	3	1	0	21
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	45	42	47	367
	感染性胃腸炎	○	126	101	116	100	715
	水痘		6	6	4	10	36
	手足口病		0	1	0	0	1
	伝染性紅斑		1	1	0	0	5
	突発性発しん		8	14	10	11	50
	百日咳		0	0	1	0	0
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	3
	流行性耳下腺炎		1	1	6	6	24
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		172	150	231	265	1,579
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	1	0
	流行性角結膜炎		1	0	0	0	33
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	3
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	1	0	0	4

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(6件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査	結核	男性	90歳代	病原体の検出
結核	男性	50歳代	病原体の検出	デング熱	男性	50歳代	非構造蛋白の検出
結核	男性	70歳代	病原体等の検出	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	50歳代	病原体の検出

*第13週は、結核4件(65)、デング熱1件(1)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(12)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第13週のコメント

<感染性胃腸炎>前週より増加し7.00となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベル。

■ トピック ■

< 感染性胃腸炎 >

全国レベルの2017年第12週は前週より減少し、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、大分県、香川県、鹿児島県で多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同じレベルとなっています。

千葉市では第10週から上下しながら例年の動向とは逆の動きをしており、2017年第13週は前週より増加し7.00となりました。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。区別の発生状況は、若葉区(12.0/定点)で最も多く、同区の1歳及び7歳で最も多く発生報告がありました。若葉区は一昨年から過去10年の同時期と比べ高い水準で推移しています。

今シーズンである2016年第36週から2017年第13週までの累積報告数(n=4435)によると、性別では男性が53.4%(2370名)、女性が46.6%(2065名)で、年齢階級別では1歳(12.8%:568名)、4歳(12.5%:556名)、5歳(10.8%:480名)の順に多くなっています。

